

事業番号 2021 - 復興 - 20 - 0008

令和3年度行政事業レビューシート ( 復興庁 )

事業名	チーム化による水産加工業等再生モデル事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	令和2年度	担当課室	農林水産担当	参事官	佐藤	宏昭	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	被災地の複数の水産加工業者等が、連携して販路開拓や人材育成等を行う、本年度における先進的な取組を支援することで、被災地のチーム化モデルの構築の推進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	水産加工業をはじめとした被災地企業の業績回復に資するため、複数の水産加工業者等が、それぞれの強みを活かしつつ、連携して販路開拓や人材育成等を行う先進的な取組を支援。具体的には、以下のような取組。 ・被災地水産加工業の活性化に向けた人材育成や人材確保の先進的な取組 ・被災地水産加工品の既存の販路拡大や、新規の販路開拓を目指した先進的な取組 ・福島県産品の風評払拭や、福島県漁業の本格操業の再開に資する先進的な取組 ・特定の事業者に留まらない、被災地の幅広い水産加工業者に横展開される先進的な取組								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	121	108	111	0	0		
	執行額	110	85	81					
	執行率 (%)	91%	79%	73%					
当初予算+補正予算に対 する執行額の割合 (%)	91%	79%	73%						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	復興政策調査費	-	-						
	職員旅費	-	-						
	その他	0	0						
	計	0	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	事業者から提出のあった成 果目標のうち主なもの(む き身のホヤのモニター実施 件数)を達成すること	むき身のホヤのモニター実 施件数	成果実績	件	-	-	107	-	107
			目標値	件	-	-	100	-	100
			達成度	%	-	-	107	-	107
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	事業実施主体(一般社団法人ほやほや学会)から提出のあった申請書及び報告書								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	事業者から提出のあった成 果目標のうち主なもの(サ ンプルングによる導入店 舗候補の獲得件数)を達成す ること	サンプルングによる導入店 舗候補の獲得件数	成果実績	件	-	-	28	-	28
			目標値	件	-	-	30	-	30
			達成度	%	-	-	99	-	99
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	事業実施主体(株式会社リアルウエイ)から提出のあった申請書及び報告書								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	事業者から提出のあった成果目標のうち主なもの(「トンロー日本市場」での新規定期採用商品数)を達成すること	成果実績		「トンロー日本市場」での新規定期採用商品数	点	-	-	7
目標値		点	-		-	4	-	4
達成度		%	-		-	175	-	175
根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施主体(気仙沼鹿折加工協同組合)から提出のあった申請書及び報告書							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	事業者から提出のあった開発したホヤナノセルロース溶液の紡績会社に対する商談数)を達成すること	成果実績		開発したホヤナノセルロース溶液の紡績会社に対する商談数	件	-	-	4
目標値		件	-		-	4	-	4
達成度		%	-		-	100	-	100
根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施主体(有限会社オйкаワデニム)から提出のあった申請書及び報告書							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	事業者から提出のあった成果目標のうち主なもの(アカモク由来の新商品の商談会2回における商談件数)を達成すること	成果実績		アカモク由来の新商品の商談会2回における商談件数	件	-	-	30
目標値		件	-		-	40	-	40
達成度		%	-		-	75	-	75
根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業実施主体(株式会社ヤマナカ)から提出のあった申請書及び報告書							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	実施計画書(仕様書)通りに事業が行われた案件数	活動実績		件	10	12	7	-
		当初見込み	件	10	12	9	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	当年度の予算執行額 / 活動実績	単位当たりコスト		百万円/件	11	7	11	-
		計算式	百万円/件	110百万円/10	85百万円/12	81百万円/7	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	復興政策の推進						
		定量的指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
	-	実績値		-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	
	取組事項	分野:	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度
	成果実績		-		-	-	-	-
	目標値		-		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
成果実績		-		-	-	-	-	
目標値		-		-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係								
-								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	水産庁が毎年実施している「水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート」によれば、復興における問題点として多く取り上げられるのは、「販路の不足・喪失・風評被害」「人材の不足」となっている。本事業の目的は、複数の水産加工業者が連携して販路開拓や人材育成に取り組むことで、先進的なモデルを構築することであり、国民や社会のニーズを的確に反映していると言える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、被災地における水産分野の再生のため、複数の県を跨いだ広域連携を含んだ先駆的なモデルを構築するものであり、「新しい東北先導モデル事業」の実施経験がある国（復興庁）が事業を行うことが適当である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	経済財政運営と改革の基本方針2015（平成27年6月30日閣議決定）において、「復興のステージの進展に応じて生じる課題に対して的確に対応し、事業完了後の被災地の社会経済の姿を見据えて、被災地の「自立」につながる復興支援としていく必要がある。復興の新たなステージにおいて、日本の再生と成長を牽引し、地方創生のモデルとなることを目指す。」と言及されており、「被災地の生業の再生」や「地方創生の参考となるモデルの構築」の視点から優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業では、一定期間公募要領を復興庁のHPに掲示し、関係自治体に周知を行った。事業の選定にあたっては、外部有識者を交えた審査委員会を開催し、審査・選定を行った。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	民間の先進的な手法を最大限活用し、販路開拓等に資する先進的な取組を支援するという目的であることから、妥当であると判断している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	類似の先行事例（モデル事業）と比較しても妥当な水準と判断している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	中間段階での支出はない。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	案件ごとに、提案内容について精査を行った上で契約しているため、必要なものに限定されていると判断している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	不用率は大きくない。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	繰越はない		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	支援対象とする事業を選定するにあたっての審査基準には、効率性が含まれており、また、提案内容についても精査の上契約しているため、コスト削減や効率化に向けた工夫は行われていると認識している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	多くの案件で成果目標が達成されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	複数の事業者が連携して行う先進的な取組の展開を短期間で実施するためには、プロジェクトの立ち上がり段階における事業費の支援が重要であり、かつ障壁となる事柄も事業者ごとに異なっているため、当該事業のような委託事業による支援が最も適当であると考えられる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施が困難となった取組もあるが概ね見合ったものであった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	実施した取り組みは事例集としてとりまとめ、水産加工業者や地方自治体に配布し、活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	水産加工業をはじめとした複数の被災地企業が連携して、それぞれの強みを活かし、販路開拓や人材育成、福島県産品の風評払拭や福島県漁業の本格操業の再開に資する取組に対し支援を実施。取組の策定に当たっては、事業実施の必要性や事業の効率性について、事業計画の内容を精査し、事業を適切に実施できるようにしている。		
	改善の方向性	-		

外部有識者の所見

対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

令和2年度で終了した事業である。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

令和2年度で終了した事業である。

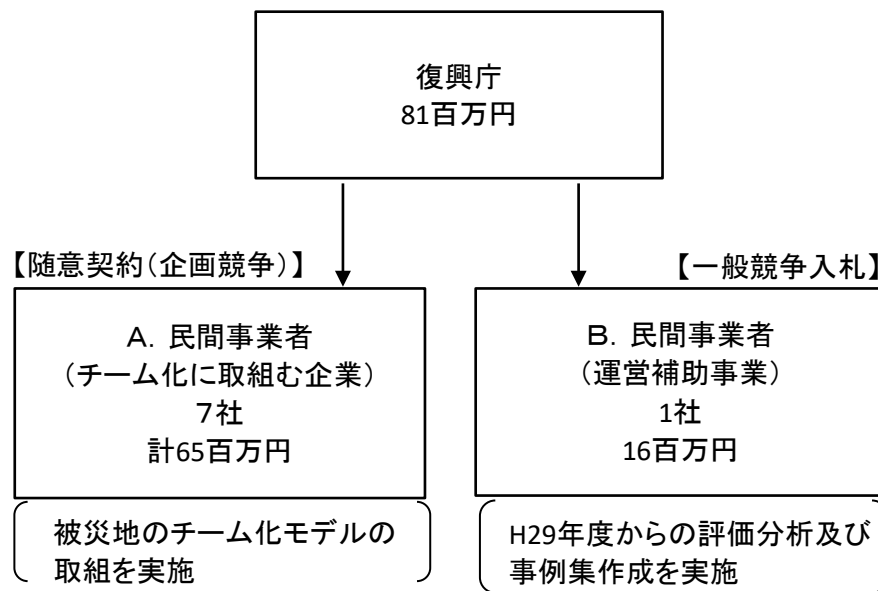
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	復興庁-新29-0001			
平成30年度	復興庁-0008			
令和元年度	復興庁 - 0008			
令和2年度	復興庁 - 0008			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックご  
とに最大の金額  
が支出されている  
者について記載  
する。費目と使途  
の両方で実情が

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	一般社団法人ほやほや学会	10	事業費	株式会社流通研究所	16
計		10	計		16

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人ほやほや学会	9370005008951	ほやの認知度向上と、消費拡大を図る	10	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
2	株式会社リアルウェイ	5130003004030	外食産業向けコンサルティング	10	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
3	有限会社上野台豊商店	9380002022483	水産加工業・刺wら販売業	10	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
4	株式会社ヤマナカ	6370301002529	水産加工業・水産仲卸業	10	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
5	株式会社電通東日本	1010401050996	広告・マーケティング業	10	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
6	有限会社オйкаワデニム	6370502000117	デニムの製造・販売	8	随意契約 (企画競争)	13	100%	-
7	気仙沼鹿折加工協同組合	4370505000487	水産加工業	7	随意契約 (企画競争)	13	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社流通研究所	1021001023144	農水産業専門のコンサルタント業	16	一般競争契約 (総合評価)	2	72.5%	-